【6.6.1.2】欧州における特許を対象にした技術動向調査

Q エスプレッソメーカーに関する技術動向調査を行い、俯瞰的に分 析をしたい。

1) 調査ツールの選択

欧州における特許は、欧州特許庁(以下、EPO)が提供する Espacenet、世界知的所有権機関 (以下、WIPO)が提供する PatentScope やドイツ特許商標庁(以下、DPMA)が提供する DEPATISnet などに収録されており、いずれを利用してもKW 検索や分類検索を行うことが可能である。 なお、調査ツールを選択する際には収録されているデータの範囲(対象国、地域、期間、言語など)、 検索結果を表示する機能、データ出力機能など入手したい情報の種類やレベルに応じて最善のツールを 選択したい。今回は統計分析機能が備わっている WIPO の PatentScope を利用した事例を紹介す る。

2) 検索事例

PatentScope の検索画面は下記 URL から接続することができる。日本語版以外にもモバイル版、英語版、ドイツ語版、中国語版、韓国語版など複数のインタフェースが用意されている。また、検索画面には4つの検索モードが用意されているので目的に合わせてモードを選択する。

https://patentscope.wipo.int/search/en/search.jsf

◆検索モードの紹介

簡易検索:フルテキストや氏名(名称)など8 種類の検索フィールドから1 つを選んで検索 を行う。

詳細検索:検索ボックスに検索語、検索式、フィールドコードなどを指定した検索構文を 入力して、複数の条件を組み合わせた検索を行う。

構造化検索:発明の名称や要約など複数の検索フィールドでそれぞれ検索条件を指定し、それらの条件を組み合わせた検索を行う。

多言語検索:入力した検索用語を自動的に 12 言語に翻訳し、その全てを使って特許 文献の検索を行う。

	▶ Mobile Deutsch English Español Français 한국어 Português Pycoxwǎ 中文 주		الحربية (中文			
	国際・国内	「特許データベース検索				
OBLD INTELLECTUAL PE		RGANIZATION				
検索 閲覧 翻訳	オプシ	ション 最新情報	ログイン	ヘルプ		
ホーム や 知財権サービス > PATENT	SCOPE					
簡易検索					言語切替	
PATENTSOOPE は WIPO が提供	する特許データ	タベース検索サービスです。	公開済みの PCT	国際出願 294 万件をはじ	ара 75 — M	_{食索}
できます。テータ収録範囲につい	ては次のリング	7からこ覧いたたけます。 (->	•)			
				官会	10 ±	
表紙				Ê: ₹	1999	
● PCTパブリケーション40/201	16 (201	簡易検索			13)になります。 More	
		詳細検索				
	-	PT-MU1X7R				
		構造化検索	4	1つの検索モー	ドが用意されている	
		多言語検索				

今回は、複数の検索項目を設定でき、より目的に近い検索ができることから「構造化検索」モードを選択 した事例を紹介する。

◆調査目的および調査対象

調査対象例として下記の調査目的および開発技術を設定した。



◆予備検索·準備編

まずエスプレッソメーカーに関連する特許分類を見つけることから始める。「構造化検索」モードを選択し、 画面左側にある検索項目メニューの「要約(日本語)」の欄に【エスプレッソメーカー】と日本語で入力し、 画面右下の「検索」ボタンをクリックする。

及び	$\mathbf{\mathbf{v}}$	登明の名称 (日本語)	V	=		2
及び	~	要約 (日本語)	~	=	エスプレッソメーカー	0
及び	\checkmark	出順人氏名 (名称)	~	=		2

検索の結果 HIT した文献があれば、それらの書誌一覧が表示される。

	WIP	o 🗋 🛯 🖻	ATENTSCOPE	⊭ Mobile D	leutsch English Español Français 흔	·국어 I P	'ortuguês Русский	العربية (中文
		1	際・国内特許データベース検索					
	WORLD IN	TELLECTUAL PROPE	RTY ORGANIZATION					
	検索	閲覧 翻訳	オプション 最新情報	ログイン	ヘルプ			
	ホーム > 知財権	サービス > PATENTSCO	PE					
	検索結果:1 - 10	0/14 件 <u>検索条件:</u> JA_AB::	エスプレッソメーカー <u>官庁</u> all <u>言</u>	語:JA <u>語幹処理:</u> true				C.
	戻る	1 2	次へ Page: 1 / 2 Go >					
	絞り込み検索	JA_AB:エスプレッソメーカー		C 検索 RSS	N 📩			
	*			結果分析				
	<u> </u>							
	並び替え: 関連	性 View	洋細表示 🔽 表示件数 1	0 🔽 自動翻訳				
			発明の名称			Ctr	公開日]
-	国際特許5 1 2009529054	う類 出題番号 エフプレッショーレーメー	- カー笠に体田されるフィルクーオ	出題人		ID	発明着 12 11 2009	
_	1. 2006036934			003-		JF	73.11.2008	_
	A47J 31/24	2008508223	10001176-1			<i>и</i> л•	YXFU/(X9)	7
	エスプレッソコ ヒーメーカー等 物質を収容し、 ターホルダー。	ーヒーメーカー等に使用。 に水密固定されるととも「 該カップ状のホルダー本(されるフィルターホルダーにおいて こ、軸3上に配置されて抽出飲料の 本2に固定されるとともに、前記プ	、、軸3を中心とする略)流路を形成する下方開]ップ状のホルダー本体	円筒状構造に構成され、開口した 口部5を有するカップ状のホルダ 2と同軸上で回転する略円筒状の	:上方領 'ー本体)アダプ	域が前記エスプ 2と、飲料抽出 ター8とを備える	レッソコー 用の粉末状 るフィル
	2. 2014510581	一部が外部にある高電圧ノ	、ロゲンまたは赤外線発熱体を備え	たコーヒーメーカー		JP	01.05.2014	
	A47J 31/54	0 2013557202	ゴネン, ガイ			ゴネン	,ガイ	
	エスプレッソメ ブで覆われてい 【選択図】図1	ーカーは、ハロゲンラン るため、水槽の内部にある	ブおよび赤外線ランプから選択され るが水には晒されておらず、水は鉄	いる、一部が外部にある な物を含んでいる。	短波発熱体を有する。短波発熱体	は、水	槽を横断する熱(云導スリー
	3. 2005199070	コーヒーメーカー				JP	28.07.2005	
	A47J 31/10	2005006161	SCHIFFERLE RENE			SCHIF	FERLE RENE	
	【課題】 エスフ 【解決手段】 た 2 とを見え、カ め、単位時間当 圧されないで、 【選択図】図1	「レッソコーヒーだけでな コートリッジ20を収容す ートリッジ内に収容され たり、抽出室内にポンプ(カートリッジに流れる。	く、表面に泡が無いフィルタコー る抽出室5と、カートリッジを押 5粉末コーヒーを抽出するコーヒー こよって送られる水の量を制限する	≤ーに匹敵する味のコー ∪抜くための少なくとも - <mark>メーカー</mark> である。入れ 5手段4、7、27、2	・ヒーをも入れることができるコー う1個の押抜き部材13、15と、 たコーヒーの表面に泡を生する原 8をこのコーヒーメーカーに設け	-ヒーン 抽出室 因とな る。こ	くーカーを提供す ミに抽出水を供給 る抽出水の加圧? の手段により、打	る。 するポンプ を避けるた 由出水は加

内容を確認し、対象とすべき技術に近いもの、あるいは周辺技術があれば、その特許に付与されている 特許分類を手がかりに、検索対象とする特許分類を特定する。特許分類の定義や周辺の特許分類は 日本特許庁のパテントマップガイダンス(PMGS)を利用することで参照できる。

https://www5.j-platpat.inpit.go.jp/pms/tokujitsu/pmgs/PMGS_GM101_Top.action

[パテントマップガイダンス (PMGS) の IPC 一覧表示より抜粋]

IPC	説明
• <u>31/00</u> (2006.01)	飲料を作る装置(家庭用の食料品ろ過機械またはろ過器具 A 4 7 J 1 9 / 0 0 ; 非アル コール飲料の調製,例.果実または野菜ジュースに対する成分添加によるもの, A 2 3 L 2 / 0 0 ; コーヒーまたはティーポット A 4 7 G 1 9 / 1 4 ; ティーインフューザー A 4 7 G 1 9 / 1 6 ; ビールの醸造 C 1 2 C ; ぶどう酒または他のアルコール飲料の調 製 C 1 2 G) [5]
• <u>31/02</u> (2006.01)	・飲用容器の上に置かれ,取外し自在な抽出容器,例. コーヒーフィルター,を有する コーヒー製造機(フイルターA47J31/06)
• <u>31/04</u> (2006.01)	・上昇管を有するコーヒー製造装置
• <u>31/043</u> (2006.01)	 ・・粉砕済のコーヒー豆の入った上部容器まで熱湯を送り,加熱源が遮断されると水が 真空のためにフィルターを通って下部容器内に吸引される作用の上昇管を有する真空型 コーヒー製造装置
• <u>31/047</u> (2006.01)	・・・熱源の自動切断を有するもの
• <u>31/053</u> (2006.01)	・・フィルターを通り繰返し循環してこすもの
• <u>31/057</u> (2006.01)	 ・飲料容器と分離された水容器を有し、熱湯が一回だけフィルターを通過するもの
• <u>31/06</u> (2006.01)	・コーヒーまたは茶製造器具のフィルターまたはろ過器
• <u>31/08</u> (2006.01)	・・そのための差込紙製フィルター
• <u>31/10</u> (2006.01)	・煎出容器が飲料容器の上または上部にあるコーヒー製造装置;ドリップ式コーヒー製 造器(A47J31/02が優先)
• <u>31/12</u> (2006.01)	・・熱湯の蒸気がフィルターを越えて上昇し凝縮後フィルターを通るもの
• <u>31/14</u> (2006.01)	・注出口内にまたはその後部にフィルターを有するコーヒーまたは茶製造装置
• <u>31/16</u> (2006.01)	・下部で水を沸騰させ次にフィルターを通すために転倒させられる転倒コーヒー製造装 置
• <u>31/18</u> (2006.01)	・粉砕済コーヒー豆または茶葉が飲料容器の熱湯中に浸される装置
• <u>31/20</u> (2006.01)	・・浸せきが可能な、例. 回転可能な、フィルターをもつもの
• <u>31/22</u> (2006.01)	・ろ過済コーヒーを作る遠心分離機(A47J31/20が優先)
<u>31/24</u> (2006.01)	・圧力下で熱湯をフィルターに通すコーヒー製造装置(A47J31/043が優先
• <u>31/30</u> (2006.01)	・・蒸気圧下で熱湯を用いるもの
• <u>31/32</u> (2006.01)	・・空気圧下で熱湯を用いるもの
• <u>31/34</u> (2006.01)	・・液圧下で熱湯を用いるもの
• <u>31/36</u> (2006.01)	・・・機械的加圧手段を有するもの
• <u>31/38</u> (2006.01)	・・・・手動によるもの

調査の目的や狙いなどを考慮して、分析対象とする技術範囲を適切に設定する必要がある。そのために は、技術範囲に対応する適切な特許分類の設定を行うことが必要になる。今回はエスプレッソメーカーの 全体像を把握することを目的としているため、A47J31/24~A47J31/38 を検索対象の特許分類に 設定する。

◆実践編

造化検索								
		表紙		=				0
及び	~	国名 (国コード)	~	=	EP			2
及び	~	出願番号	~	=				2
及び	~	公開日	~	=				2
及び	~	発明の名称 (日本語)	~	=				2
及び	~	要約 (日本語)	~	=				2
及び	~	出願人氏名 (名称)	~	=				2
及び	~	国際特許分類	~	=	A47J31/24			2
及び	~	発明者氏名 (名称)	~	=				2
及び	~	官庁コード	~	=				2
及び	~	明細書 (日本語)	~	=				2
及び	~	請求の範囲 (日本語)	~	=				2
及び		ライセンシングによる利用可能性	Ē	=				
(及び		発明者氏名 (名称)	~	のデータ	● 特定せず(○無し○有り)		
語	日本	語 🔽 語	幹処理適用:			官庁:	全て	Specify ⇒
							0 検索約	吉果 検索 リ セット
) 検索フ	1-J	レドを追加 (-) 検索フィールドをリセ	ット ツール	チップへ	レプ 有効化 🗌]		

検索対象の特許分類を設定したので、実際に欧州特許に対する検索を行う。

まず「構造化検索」モードを選択し、左側のプルダウンメニュー(どの行でも良い)を「国名(国コード)」 とし右側の検索ボックスに【EP】と入力する。次に「国際特許分類」に【A47J31/24】と入力し、「検索」 ボタンをクリックする。

一般的に特許分類を検索する際には、下位分類を含む検索・含まない検索の条件設定に気を配る必要がある。A47J31/24 はエスプレッソタイプのコーヒー製造装置に対応する最上位の特許分類で、 A47J31/30~31/38 が下位分類となる。PatentScope における特許分類検索は、下位分類が自動的に含まれるようになっている。そのため特許分類の指定としては A47J31/24 のみ入力すれば良い。

検索を実行すると書誌一覧が表示されるが、ここで「結果分析」ボタンをクリックすると自動的に統計分析 が実施されるので、この機能を利用する。

	PATENTS	COPE	■ Mobile	Deutsch English Español	Français 한	국어 Português Русский 中文 العربية			
WIPO 🔿	FAIENIS								
	国際・国内特許	データベース検索							
WORLD INTELLECTUAL	PROPERTY ORGAN	NIZATION							
検索 閲覧 翻訳	R オプション	最新情報	ログイン	ヘルプ					
ホーム > 知財権サービス > PATE	NTSCOPE								
検索結果:1 - 10/1,255 件 <u>検索条</u>	<u>件:</u> CTR:EP AND IC:A	47J31/24 <u>官庁:</u> all <u>言語</u> 、	JA <u>語幹処理:</u> true						
戻る 1 2	3 4 5 6	7 8 9 10	次へ	Page: 1 / 126	io >				
絞り込み検索 CTR:EP AND	IC:A47J31/24			◆ 検索	RSS	N			
Instant Help									
*			結果分析						
並び替え:公開日 (新しい順) 🗸	View 詳細表示	▶ 表示件数 10	✓ 自動翻訳						
同時はキバス	W 85 32 13	発明の名称	W BS 1		Ctr	公開日			
回院符計分規 1 2020625 REVERAGE MACHIN 1 2020625 REVERAGE REVERAGE MACHIN 1 2020625 REVERAGE REVERAG	山県街ち		山總人		ED	元明日 09 11 2016			
A47104/06	14007777				DUCKAN	4D DETED			
A47J 31/36	14827777	KUNINKE PHILIPS NV			RIJSKAN	IP PETER			
The present invention relates to a a portable capsule holder (18) an	a beverage machine. T d (ii) a lid (20) connec	he beverage machine co ted to the main body (12)	mprises a brewi	g unit (10) with (i) a main l	body (12) o e beveradi	fining a hollow (14) for receiving e machine comprises a portable			
capsule holder (18) that is configu	ured to receive a caps	ule (50) which encapsula	tes an extractabl	e food product. The brewin	g unit (10)	and the portable capsule holder			
(18) cooperate together in a man	ner that is regarding th	ne liquid flow similar as a	fountain.						
2. 3086693 DISPENSING INGRE	DIENTS FROM A BE	VERAGE CARTRIDGE			EP	02.11.2016			
A47J 31/24 💿	14874578	COCA COLA CO			RUDICK	ARTHUR G			
A cartridge for use in a beverage	dispenser. The cartric	lge including a plurality of	f storage compar	ments stacked one on top	of the othe	er within an interior of the			
ports, and a seal covering the inle	et and outlet ports. A t	ransfer medium ruptures	the seal and enter	ers the inlet port, an ingre	ge the ingre	edients simultaneously out of each			
of the plurality of storage compart	tments.					,			

「結果分析」ボタンをクリックすると IPC や発明者、出願人などの一覧表が表示される。

		////	り棒グラン	フ 〇 円グラフ 〇 Line						
国名 国際特計分類 (メイ 発明者 (筆頭) 出願人 (筆頭) 女									公開日	
国名 ≑	No ¢	IPC ¢	/) No	氏名 (名称)	No ¢	氏名 (名称) 🖕	No ¢	日付	No ¢	
European Patent	1255		\$	YOAKIM ALFRED	33	NESTEC SA	154	2006	42	
Office		A47J	1255	KOLLEP ALEXANDRE	32	NESTLE SA	41	2007	28	
B65D 177	DENISART JEAN-LUC	30	KONINKL PHILIPS	31	2008	28				
		A23F	36	KOELING HENDRIK CORNELIS	29	ELECTRONICS NV		2009	58	
		G07F	34			LAVAZZA LUIGI SPA	26	2010	79	
		A23L	22	KAMERBEEK RALF	28	KONINKL DOUWE EGBERTS BV	25	2011	83	
		B67D	17	FISCHER DANIEL	24	KRAFT FOODS R & D INC	24	2011	95	
		B65B	12	BLANC JEAN-PIERRE	19	EUGSTER FRISMAG AG	23	2012	444	
		F04B	11	RYSER ANTOINE	19	SEB SA	22	2013	00	
		B01D	10	MARILLER ALAIN	18	SARA LEE DE NV	19	2014	30	
		F16K	6	MÖRI PETER	18	ILLYCAFFE SPA	18	2015	12	

この画面からは、IPC ランキングとして分類コードと出願件数、出願人ランキングとして出願人の名称と出 願件数、そして特許の発行年ごとの出願件数が見てとれるので、具体的な内容を把握することができる。 初期設定は表形式となっているが、表示形式をグラフ形式に変更すれば、棒グラフや円グラフを表示させ ることができる。



円グラフあるいは棒グラフを作図させるには、左側のオプションから「グラフ」を選択し、右側のオプションから 「棒グラフ」または「円グラフ」を選択し、さらに分析軸を指定するのだが、技術動向調査としては次のような 分析軸を指定する方法が有効である。

- ◆ Main Applicant (参入している企業・メインプレイヤーがわかる)
- ◆ Main IPC (注力している技術分野がわかる)
- ◆ Publication Date (出願の時期から、業界全体の開発動向や将来動向がわかる)

例えば「グラフ」の「円グラフ」を選択し、「Main Applicant」をクリックすると、このようなグラフが作図される。



この結果、NESTEC SAとNESTLE SA を合わせると、全体のおよそ半分の出願件数を占めることがわかる。



つぎにオプションで「棒グラフ」を選択し、さらに「Main IPC」をクリックすると、特許分類のランキングを示す グラフが作図される。このグラフからは、A47J(家具、家庭用品または家庭用設備、コーヒーひきなど) の次に多いのは B65D(物品または材料の貯蔵または輸送用の容器、包装体など)であることがわかる。 すなわち、今回の検索対象の特許分類である A47J31/24~31/38 が付与されている特許文献には、 B65Dの分類も付与されているものが一定量存在することが分かる。このことから、コーヒー製造装置に関 して容器に関する技術が一定量出願されていることが推測される。



またオプションで「棒グラフ」を選択し、さらに「Publication Date」をクリックすると、時系列に整理された 年次推移グラフが作図される。

このグラフからは、2008年より出願件数が増加したことがわかる。この年は、ネスレ社より「1杯分ずつ淹

れるコーヒーシステム(Single Serve Coffee Machines & Capsules)」の製品が発売された時期 (2008年 Dolce Gusto発売)であり、これを受けて、業界として製品開発が活発化したことが推測される。

◆まとめ

このように、PatentScope を利用して特定の技術について検索し、結果分析機能を活用すれば、その 技術の参入企業、技術内容、時期的傾向といった動向を把握することができる。 より複雑・高度な分析を行いたい場合には、さらなる条件の設定(例えば特定の企業に限定する、KW で特定の技術に限定するなど)により、深掘りした分析を行うことができる。また HIT した文献の書誌デ ータ、特に出願日・公開日・IPCなどのデータをダウンロードし、これを表計算ソフトなどで加工することで2 軸分析を行うことも可能となる。

Point

PatentScope の「結果分析」機能を利用すれば、ランキングや年次推移などの 統計分析結果(表またはグラフ)を表示させることができ、技術動向分析に活用 することができる。